

魚つき保安林の保全を

関係機関と連携し強く要望

森林保全



生駒利治議員



台風により湾内に流入した流木の除去作業の様子。被害を未然に防止するため、倒木などの処理は重要です。(大浦漁港)

質問 霞露山国有林と半崎国有林は重要な魚つき保安林である。近年の台風、しけなどにより倒木、土砂崩落が各所に見られアワビ、ウニの天然資源から養殖施設まで広範囲に被害が発生している。三陸北部森林管理署に対して早急に対策を図るよう要望すべきだと思

うが、町の対応を問う。

沼崎町長 霞露山国有林と半崎国有林は、魚つき保安林及び国立公園特別保護地区として、各種漁業資源の保護・増進に役立っている。一方、厳しく険しい場

所に在るために、倒木と清流木、または土砂崩落がこれまでにも度々起こり、漁業関係に被害を及ぼしてきたことは事実である。

町では三陸北部森林管理署に対し、町内各漁業協同組合などから意見集約をし、被害を未然に防ぐよう要望しており、今年度も取りまとめをし提出の予定である。

このように関係機関と連携を密にしながら、国有林野の見回り、倒木、流木の除去など安全対策が早期に図られるよう、今後とも強く要望していく。

町の考えを聞く

住民自治

町づくり活動の推進を

地域との協働を推進

質問 住民自治組織を小学校単位または、町民体育祭の区割単位など、活動実態に即した組織化を働きかけてはどうか。

沼崎町長 今後の行政の推進にあたっては、住民自治組織との円滑な協働が必要となってくる。区割りも含め組織化の方向性を第八次総合発展計画の中で示したい。

質問 公設民営と指定管理者制度を積極的に取り入れ、住民自治組織の活動拠

点となる公共施設を自治組織に管理依頼し、町づくり活動と行政事務の一端を担ってもらおう考えはないか。

沼崎町長 今後はそのような方向を目指す必要があると考える。

指定管理者制度の施行期限は、平成十八年八月までであり、当面は、現在管理委託をしている施設を中心に、町づくり活動の有効性、施設運営の効率性、施設譲渡の可能性などを検討していく。



町づくりには、行政と住民自治組織との協働が必要です。(今年1月に行われた田の浜自治会の世代間交流会の様子)